

# 正しい節電の考え方と省エネについて

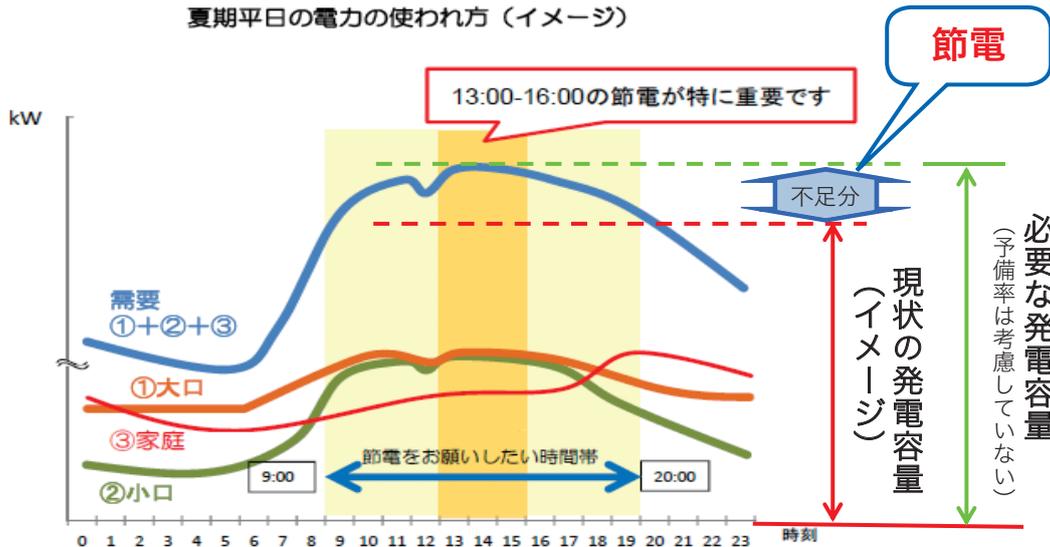
## ■節電とは

ピーク電力時間帯（節電要請時間帯）での電力消費を抑制すること

⇒ 時間を意識した電力使用が求められている

【電力が不足する時間帯（夏期平日の電力の使われ方）】

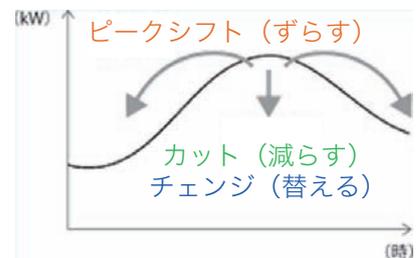
夏期平日の電力の使われ方（イメージ）



【節電の主な3つの考え方】

ピークシフト (ずらす)	夜間等に貯めた熱で昼間に対応する（蓄熱空調・給湯等）。または使用時間を変更する。
カット (減らす)	節電時間帯のみ使用を控える。
チェンジ (替える)	電気以外で対応できる場合は（空調等）、電気以外の熱源で対応する。

【参考】夏期の節電メニュー（事業者の皆様）  
平成24年7月経済産業省



## ■省エネとは

エネルギー使用量を減らすこと。（エネルギー種別を公平に評価するために化石燃料消費量（一次エネルギー換算）に換算して定量化する。）

⇒必ずしも節電とイコールではない

## ■節電と省エネを両立させるにはどうしたらよいか？

- ①無駄なエネルギーの削減（快適性とのバランスが必要）。
- ②ヒートポンプ等の高効率機器の活用。
- ③ピーク電力時間帯にヒートポンプ熱源機を停止させる。

（蓄熱システム活用：ピーク電力時間帯は貯めた熱を用いて空調や給湯等を賄う）